

議会議案第46号

地域住民の平穏な生活を確保すべく、正月三が日やゴールデンウィークの特異日における江ノ島電鉄の混雑について、速やかな対策を求める意見書の提出について

地域住民の平穏な生活を確保すべく、正月三が日やゴールデンウィークの特異日における江ノ島電鉄の混雑について、速やかな対策を求めることに関し、次のとおり意見書を提出する。

平成29年3月17日提出

提出者	鎌倉市議会議員	千	一
同	同	上	竹田 ゆかり
同	同	上	保坂 令子
同	同	上	岡田 和則
同	同	上	西岡 幸子
同	同	上	日向 慎吾
同	同	上	永田 磨梨奈
同	同	上	長嶋 竜弘
同	同	上	渡邊 昌一郎
同	同	上	渡辺 隆
同	同	上	上畠 寛弘
同	同	上	山田 直人
同	同	上	赤松 正博
同	同	上	松中 健治

地域住民の平穏な生活を確保すべく、正月三が日やゴールデンウイークの特異日における江ノ島電鉄の混雑について、速やかな対策を求める意見書

江ノ島電鉄は、沿線に居住する市民の日常生活に欠かせない移動手段として大切な役割を果たしている。しかしながら、観光都市である鎌倉市においては、多くの観光客が来訪し、江ノ島電鉄は、移動手段としてはもちろんのことながら、乗車すること自体も目的となっており、膨大な乗降者数である。具体的な特異日の乗降者数としては、鎌倉駅においては、正月三が日は6万人を超え、ゴールデンウイークでは13万人を超える状況である（平成27年）。また、鎌倉駅から乗車しようとする長蛇の列は、市役所前の交差点にまで及び、歩道から車道に人の列があふれ出ている危険な状態となっており、歩行者の妨げにもなっている。

さらに鎌倉駅のみならず、由比ヶ浜駅や長谷駅、七里ヶ浜駅においても乗車制限が起こっている。このような状況下によって、江ノ島電鉄沿線の住民は、乗車するまでの間、長蛇の列に住民も並ぶ必要があり、結果として日常生活を営むこと自体に影響が及んでいる状況である。江ノ島電鉄沿線は、特に高齢化率が高く、高齢者にとって貴重な移動手段である江ノ島電鉄の混雑は生活に多大な影響を来している。

鎌倉市議会としては市民の生活の支障を取り除き、平穏を確保するため、観光都市である鎌倉の住民と観光客が共存するために速やかな対策が必要であると認識している。

以上を踏まえて、関係各機関に次のとおり要請する。

- 1 鎌倉市においては、江ノ島電鉄株式会社と特異日の対策について協議し、沿線の住民が優先して乗車できるなどの住民に配慮した対応や、特異日においては、代替の移動手段の確保をすること。
- 2 鉄道事業を所管する関東運輸局を初め国土交通省や神奈川県においても、繁忙期における江ノ島電鉄の状況について、速やかに把握した上で、地域住民に寄り添った施策を展開すべく、鎌倉市に協力すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成29年3月22日

鎌倉市議会